

事業所における自己評価総括表

公表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」磐田駅前校			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日 ~ 2025年 11月 30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数)	38
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日 ~ 2025年 11月 30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 8日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用児の様子を観察し、気づいたことなど情報交換が活発でつながりのある支援を職員同士が意識して取り組んでいます。	・明るい挨拶、気軽な声掛けなど安心できる雰囲気作りに努めています。 ・利用児の言葉に耳を傾け、気持ちを受け止め認めることを常に意識して対応しています。 ・職員同士での気軽な相談、引継ぎをおこないよりよい療育支援に努めています。	・アセスメントツールや話し合いを用いて、本児の性格や課題の把握を深め、意欲的に取り組めるような支援をおこなっていくとともに、関係機関との連携を図っていきます。
2	・各々の強み活かし、様々な支援を実施しています。また、「楽しい」と利用児が思っていただけるような内容を工夫しています。 ・職員間で支援見学や相談など気軽におこなえる環境を整えています。	・指導員の苦手なことの開示をおこない、利用児と一緒に協力したり、「誰でも失敗することもある」「苦手なこともある」という安心感を与えることができるようになります。 ・各々の強みを活かし、職員同士で情報交換をおこなっています。	・情報連携、支援内容のバリエーションを増やすなどチームとして療育の質を向上していくために、内部研修や職員間での支援見学などをより活発に実施していきます。
3	・療育室が多く、1人ひとりに十分なスペースを提供し、個別の空間で安心して取り組めるようにしています。	・その日の活動内容によって使用する療育室を相談しあい、安全面にも配慮しながら、落ち着いて過ごすことができるような配置を工夫しています。	・同室で実施する児が落ち着いて過ごせるような空間の工夫（パーテーションの導入など）や身体にあった机、椅子、道具の提供をおこなっています。 ・準備から片付けまで、利用児がつながりをもって活動できるよう環境設定、収納方法を見直し、工夫していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われる	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・特性や関係機関などについての専門的な知識を深めることにより、説得力のある助言を実施することができると思います。	・基礎知識を得る機会や、共通認識をもつ機会が少なかったと感じています。	・職員の経験や資格を活かした対応方法や基礎知識を学ぶ場を設けていきます。また、必要な資料を揃えていきます。
2	・保護者向けイベントや小集団活動を実施する機会が少ないと感じている。	・日程調整や企画立案が積極的にできていなかったためと考えています。また、保護者や利用児の要望の抽出が十分にできていなかったと感じています。	・大きなイベントではなく、定期的に小規模での集団活動を計画に取り入れていきたいと思います。また、保護者の不安の軽減や居場所作りとしての企画を考えて実施していきます。
3	・誰が見ても分かりやすい環境の構造化、衛生面の向上。	・危険軽減のための配慮や、わかりやすい教材配置などの構造化ができていなかったためと考えています。流れのある療育活動につながっていなかったと感じています。	・構造化、衛生面などについて指導員間で共有し、1人ひとり意識を持ち、取り組みます。また、限られた環境でよりよい支援ができるよう工夫していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」磐田駅前校
------	---------------------

公表日 2026年 2月 14日

利用児童数

54

回収数

38

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	38	0	0	0	・十分にスペースが確保できるように利用者と職員の配属が適していると思います。	今後も危険がないよう、限られた空間の中で環境構造を考えながら、のびのびと活動できるよう工夫していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	34	1	1	2	・新しい職員が配属されたりと適切に対応されていると思います。 ・人員が足りない中でも担当されている先生の他にも声掛けしてくださったりありがとうございます。	現在、児童発達支援管理責任者1名（管理者兼務）、児童指導員4名、保育士3名が在籍しております。今後も指定基準を遵守し、安心して過ごせるよう努めています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	34	3	1	0	・本人が、その日におこなうカリキュラムを視覚と言語化して指導してくれています。	今後も皆様が読みたくなる、聞きたくなる掲示、説明を心掛けたいと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	38	0	0	0	・清潔で洗面台もきれいで、感染対策も考慮されていると思います。	日々の清掃に加えて、細かな部分の衛生管理にも気を配り危険のない、清潔な環境を整えていきます。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	36	1	0	1	・通所の期間も長ないので顔なじみの職員も多く、本人の特性をよく理解してくれています。専門性のある支援と言われるど…。担当してくださる先生でかなり違うと思います。	今後も質の高い療育を提供できるよう職員一同で知識、技術の向上につとめていきたいと思います。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	35	0	0	3	・定期的に個別の支援計画を更新して保護者の意見も取り入れて、本児の成長に応じたプログラムを作成してくれています。	保護者の要望を取り入れた課題の設定、お子様が無理なく挑戦し、楽しめるような活動内容を工夫していきたいと思います。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	38	0	0	0	・児発管の方が最終的に個別支援計画書を見直して責任をもって更新してくれています。	保護者やお子様の要望を考慮し、現在だけではなく将来につながるような課題設定、計画作成に努めています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	37	0	0	1	・各項目に沿った支援がおこなわれていると思います。	保護者の要望やお子様の様子を考慮しながら、優先順位などを考え計画作成、設定を実施していきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35	1	0	2	・個別支援計画書に沿った本児に対して適切な支援がおこなわれていると思います。	今後も、職員間で共有しあい、安定した支援をおこなうことができるよう知識、技術の向上に努めています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	36	1	0	1	・毎週、カリキュラムが重ならないよう更新していただけます。 ・新しい課題が出てくるたび、子供に合うように細かく活動内容を変えてくださってありがとうございます。	ありがとうございます。お子様が「たのしい！」「やってみようかな」と一歩踏み出せるような活動を提供できるよう工夫していきます。また、課題に対しての説明をわかりやすく伝えることができるよう努めています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	11	7	13	7	・個別支援なので、他者との交流はあまり感じません。	現在、地域交流は実施していませんが、今後要望をふまえて検討していきたいと思います。
支援の継続性	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37	1	0	1	・事業所を利用する前に、細かく丁寧な説明がありました。	より分かりやすい説明ができるよう努めています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	37	0	0	1	・支援内容の説明は、的確に丁寧にしてくださいました。	今後も、意図が伝わるような具体的な説明を心掛けています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	4	5	13	・家庭での関わり方や支援についても相談にのってくれました。	随時、支援見学や個別面談の実施、日々の申し送りにて助言等をさせていただけております。今後も、このような機会の周知や、企画を考えていきたいと思います。

保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	38	0	0	0	・日々、本児の成長について利用するたびに報告してくれます。気になったことを送迎時、気軽に相談ができる助かっています。 ・その日の様子やこれから取り入れる支援内容も細かく教えてくださり、安心して子供の支援をお願いできています。 ・毎回、迎えの際に家庭や学校の様子を話せる時間があり、ありがとうございます。	ありがとうございます。保護者にはようやく丁寧な説明を、お子様には笑顔が増えるような活動を提供することができるよう今後も工夫していきたいと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	35	2	1	0	・毎回、利用後に数分ですが相談できる機会を設けてもらっています。 ・更新月には面談がありました。	半年に1回の面談を通して、保護者とじっくり話をする機会を設けています。また、希望によって面談も受け付けています。気軽にお声がけください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	37	0	0	1		今後も皆様が安心できるような言葉かけや助言ができるようにしていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	10	7	8	・我が家には、長男がいて兄弟児にあたるのですが、一緒に参加させてもらえるイベントがあり兄弟ともに嬉しそうにしていました。	保護者会やイベントなどを通して、できるかぎり交流ができるよう検討していきたいと思います。また、きょうだい、家族で楽しさを共有できる機会を実現できるよう考えています。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	36	1	0	1		今後も利用児、ご家庭に寄り添った支援を心掛けたいと思います。また、様々な情報、助言を提供できるよう努力していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	36	1	1	0	・その日の支援内容や様子を丁寧に伝えてもらっています。ただ、同じ時間にお迎えにきた他の家庭と同じ環境のため聞き取りづらいときがあります。 ・子供の話もよく受け入れてくれています。	今後も利用児、ご家庭に寄り添った支援を心掛けたいと思います。また、様々な情報、助言を提供できるよう努力していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	28	1	0	9		今後もLINE、ブログ、Instagramなどを通して活動内容を発信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	34	0	0	4		個人情報を鍵つきのロッカーに保管する、お子様の作品は名前が見えないよう配慮するなど今後も注意していきます。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	31	0	1	6		月1回の防災訓練の開催、各マニュアルを玄関に配置しています。今後も周知活動につとめています。
非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	30	0	0	8	・非常災害の発生に備えて、必要なものが準備されています。	備蓄品の点検や防災訓練を定期的に実施しています。今後も、対象になった際にはご協力をお願いいたします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	32	0	0	6		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	31	0	0	7	・怪我をしたことがないので分かりませんが、感情が爆発してしまったときに迅速に細かく状況説明をしていただいたので、何かあればすぐに対応していただけののではないかと思います。	ありがとうございます。今後も、お子様が安心して通所できるような連携に留意していきます。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	38	0	0	0		お子様が楽しく、ほっとできるような対応、空間を工夫していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	38	0	0	0	・毎週、嫌がることなく嬉しそうに自分から率先して行こうとしています。 ・毎週、「今日は何やるかな？」と楽しみに通っています。 ・先生達の対応が素晴らしい、毎週楽しみに通っています。	ありがとうございます。通所が楽しみになり、笑顔が増えるような活動内容、対応に努めています。

満足度	29	事業所の支援に満足していますか。	36	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 今までに通算して4年目になりますが、本当に通わせていただき良かったと思います。 先生によっては、もう少しやってほしいなと思うこともあります。 少しレベルをあげてほしいと思う時がある。 通所回数がもう少し増えると嬉しいです。 いつも明るく迎えてくださり、ありがとうございます。 利用する時に、親も本人も気持ちが落ち込んでいる時でも明るく受け入れてくださいますので、安心して利用させてもらっています。 	ありがとうございます。今後も、安定した質の支援提供、つながりのある活動につとめ、職員同士協力しあいよりよい校舎になるよう努めていきたいと思います。
								お子様も保護者も、来所するとちょっと元気に、笑顔になることができるよう、職員一同、明るく、笑顔で丁寧な関わりをおこなっています。 これからもよろしくお願ひいたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」磐田駅前校	公表日	2026年 2月 14日	
環境 ・ 体 制 整 備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		適切な広さを確保できるようにし、その日の活動内容に応じて使用する支援室を決めています。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童発達支援管理責任者1名（管理者兼務）、児童指導員4名、保育士3名が現在在籍しています。また、基準を遵守した人数を日々配置しています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		踏み台や補助便座、階段の手すりを設置しています。また、療育室にフロアマットを設置し、転倒など怪我のリスクに備えました。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清掃と消毒を実施しています。また、活動内容によって机を移動するなど環境づくりに配慮しています。
業務 改 善	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		利用児の様子を考慮し、職員同士で使用する部屋を相談しながら決めています。
	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		職員との面談を実施し、個別の目標などを共有しています。また、業務内容で気づいたことがあれば都度相談し、改善に努めています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価結果を共有、申し送りなど日々いたいた意見を参考に都度職員間で話し合い、実施の可否を相談しながら業務改善に努めています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員と管理者が面談する機会を設け、意見を出し合いながら業務改善に努めています。また、気づいたことは都度、職員間で話し合いながら改善しています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在実施しておりません。今後、実施の予定が決まり次第、保護者に周知します。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的な会社全体の内部研修、法定研修などに参加しています。また、外部研修の情報を共有し、参加しています。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		定期的なモニタリング、個別支援計画をもとに指導員が支援プログラムを作成している。また、申し送り時に内容説明をおこなっています。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		職員間で課題の優先順位などを話しあい、利用児の将来を見据えた課題や利用児の現状にあつた目標の設定及び共有をおこなっています。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		作成、更新の際にはモニタリング会議を実施し、児童発達支援管理責任者だけではなく、指導員の意見も取り入れ課題設定をおこなっています。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間で支援プログラムを相談しあい、確認をおこないながら支援を提供しています。また、意見交換も積極的におこなっています。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		社内で使用しているアセスメントシートの他に、発達支援評価ツールを適宜使用し利用児の成長を把握しています。

適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		職員間で課題の優先順位などを話しあい、利用児の将来を見据えた課題や利用児の現状にあった目標の設定及び共有をおこなっています。	目標、課題への共通理解を深め、安定した療育ができるよう今後も努めています。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		指導員1人ひとりの強みを大切にしながらも、本児の課題を踏まえた内容設定を実施しています。また、利用児に複数の指導員が支援をおこなっています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用児が「楽しい！またやりたい！」と思えるような活動提供を心掛け、都度、保護者や利用児の意見を取り入れています。	継続すべき課題などを把握し、つながりのある活動をおこなっていくことができるようになります。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		利用児の課題や要望に合わせて一緒に活動する機会を設けたり、イベントとして小集団活動を取り入れたりしています。	利用児に応じて今後、積極的に小集団の機会を設けていきたい。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		職員間で支援内容の引継ぎや、社内ツールを使用した情報伝達などを個々で実施しています。また、発言しやすい環境に努めています。	毎日の申し送りや職員会議の定期実施など、情報伝達に漏れがないような工夫をおこなう必要があると考えています。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		職員間で支援内容の引継ぎや、社内ツールを使用した情報伝達などを個々で実施しています。また、発言しやすい環境に努めています。	毎日の申し送りや職員会議の定期実施など、情報伝達に漏れがないような工夫をおこなう必要があると考えています。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		社内ツールを使用し、支援終了後に記録を作成、保存を実施しています。また、特筆すべき点は別途情報共有しています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		少なくとも半年に1回は職員や保護者の意見を踏まえながら、個別支援計画の見直し、更新を実施しています。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○		利用児と保護者の要望を含め、偏りがないよう支援内容を決定しています。	地域交流の機会の提供、余暇の提供に対しての支援方法を考え、工夫していきたい。
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		利用児の要望、言葉を尊重し実施プログラムの変更や選択肢を提示するなど、利用児の様子にあわせて自己決定をする場面をつくっています。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者がなるべく参加することができるよう努めています。また、事前に利用児について話し合い、課題や様子の把握をおこなっています。	指導員も積極的に参加することができるようになっていきたいと考えています。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		ケース会議や保育園訪問、学校見学など保護者のご要望に応じて積極的に参加しています。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎を実施していないため、学校と連絡を実施する機会は殆どありませんが、保護者の同意を得て連携をとるようにしています。	保護者への周知をおこない、必要性のある児童に対して積極的に提案していく必要があると感じています。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		保護者の要望に応じて取り組んでいます。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		過去実施したことはありませんが、必要に応じて保護者の同意を得た上で実施しています。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		発達支援研究所より定期的に実施される研修や事例検討会に参加し、助言をうけています。	地域の関係機関との連携や社会資源への知識を深めていく必要があると感じています。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		○	現在おこなっていませんが、保護者の要望を聞きながら検討していきたいと思います。	
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	日程調整を実施し、積極的に参加していきたい。	今年度は参加できなかったので、積極的に参加し他事業所との交流に努めています。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		○	支援後の申し送りに加えて、要望に応じて個別面談も実施しています。	

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		支援見学や個別面談の際に、助言などを実施しています。	保護者が参加できるような機会の設けるとともに、外部実施の情報など積極的に周知をおこなっていきたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を実施し、玄関にて掲示、閲覧できるようにしています。また、個別に質問があった際には都度、お伝えしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		作成、更新の際には個別面談を実施し、意見交換や支援をおこなった上で課題などを共有しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		面談を実施し、課題やニーズの共通理解を得てから、今後の支援について説明し同意を得ています。	より丁寧で具体的な説明が必要だと感じています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		半年に1回の面談の他に要望に応じて面談の時間を設けています。また、申し送り時に助言などを実施し、回答が難しい場合は一度職員間で話し合いを実施しています。	保護者や利用児の様子をみて、こちらからの声掛け、提案をおこなっていきたいと考えています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	今年度実施できませんでしたが、積極的に機会を設けていきたいと思っています。	ファミリーカフェなど保護者向けのイベント、交流を企画していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		来所時、電話、LINEなど相談や連絡方法を複数用意し、迅速に対応できるようにしています。また、必要に応じて個別面談の機会を設けています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		個人情報に配慮しながら、ブログやInstagramを通じて活動を定期的に発信しています。また、LINEを活用し細やかな伝達ができるよう努めています。	更新頻度を高め、活動の様子をより知りたいとするよう内容の充実を図っていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		会社貸与のPCを使用し、書類なども退勤時にすべて鍵付きの書庫に保管しています。また、利用児の作成した制作も名前がわからないように掲示させていただいている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		本児の特性や発達に合わせ、視覚的な補足を入れるなど伝え方を配慮しています。	利用児にとってわかりやすい活動表やツールを充実させていきたい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		現在実施しておりません。今後、実施の予定が決まり次第、周知します。また、保護者の意向などを取り入れ、検討していきます。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを作成し、職員間で共有、いつでも閲覧できるようにしております。また、定期的に会社全体で研修を実施しています。	訓練内容の充実を図り、職員が迅速対応することができるようしていく必要があると感じています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		各種マニュアルを作成し、職員間で共有、いつでも閲覧できるようにしております。また、毎月1回防災訓練及び定期的に会社全体で研修を実施しています。	訓練内容の充実を図り、職員が迅速に対応することができるようしていく必要があると感じています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		年度当初、基本情報シートに記入いただき把握するとともに、変更など報告があった際には、情報の共有や基本情報シートの更新を実施しています。	てんかんの対応方法など職員間で共有しています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		基本的に、飲食の提供は実施していないため、医師の指示書などはいただいておりませんが、イベントなど必要な場合は確認をとり把握しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		各種マニュアルを作成し、職員間で共有、いつでも閲覧できるようにしております。また、定期的に会社全体で研修を実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に説明をおこない、実施した場合は保護者に周知しています。	
	52	ヒヤリハットを作成した際には、必ず防止策や改善策を指導員間で話し合っています。	○		ヒヤリハットを作成した際には、必ず防止策や改善策を指導員間で話し合っています。	校舎の環境など安全について考え、共有していく必要があると感じています。

	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		定期的な研修の他に、チェックシートを毎月実施し防止に努めています。	虐待、身体拘束についての考えを共通認識し、今後も適切な対応に努めています。
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		社内で決定した内容を契約時に説明し、同意を得てから実施しています。	虐待、身体拘束についての考えを共通認識し、今後も適切な対応に努めています。